

NY マーケットレポート (2015 年 12 月 3 日)

NY 市場では、ECB が発表した追加緩和策の規模が予想より小さかったことから、ユーロは主要通貨に対して堅調な動きとなった。また、発表前に英経済紙が、ツイッターで「ECB は金利を据え置き」との誤報を発信したことから、金利発表前に大きく上昇する場面もあった。一方、米 ISM 非製造業景況指数が市場予想を下回る結果となったことや、欧米の株価が大きく下落する動きとなったことを受けて、ドル/円は終盤まで軟調な展開が続いた。

2015/12/3 (木)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	123.40	123.50	123.23
EUR/JPY	130.62	130.86	130.61
GBP/JPY	184.29	184.50	184.03
AUD/JPY	90.36	90.45	89.80
EUR/USD	1.0587	1.0619	1.0584

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	123.57	123.25
EUR/JPY	131.75	130.23
GBP/JPY	184.68	184.09
AUD/JPY	90.58	90.35
EUR/USD	1.0690	1.0541

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	19939.90	+1.77
ハンセン指数	22417.01	-62.68
上海総合	3584.82	+47.92
韓国総合指数	1994.07	-15.22
豪ASX200	5227.72	-30.62
インドSENSEX指数	25886.62	-231.23
シンガポールST指数	2883.89	+0.25

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6275.00	-145.93
仏CAC40	4730.21	-175.55
独DAX	10789.24	-400.78
ST欧州600	372.11	-12.06
西IBEX35指数	10092.90	-249.10
伊FTSE MIB指数	21995.71	-556.20
南ア全株指数	50424.89	-734.22

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	122.54	123.42	122.31
EUR/JPY	134.13	134.50	131.34
GBP/JPY	185.70	185.92	184.43
AUD/JPY	90.13	90.54	89.71
NZD/JPY	82.16	82.18	81.41
EUR/USD	1.0948	1.0981	1.0647
AUD/USD	0.7356	0.7362	

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17477.67	-252.01
S&P500	2049.62	-29.89
NASDAQ	5037.53	-85.69
日経225 (CME)	19545	-325
🇨🇦 トロント総合	13324.67	-139.15
🇧🇷 ボルサ指数	43027.30	-389.75
🇧🇷 ボベスバ指数	46393.26	+1478.73

12/4 経済指標スケジュール

09:30 【豪】10月小売売上高
10:30 【日】10月毎月勤労統計[現金給与総額]
14:00 【日】11月消費者態度指数
16:00 【独】10月製造業受注
17:15 【スイス】11月消費者物価指数
17:30 【スウェーデン】10月鉱工業生産
22:30 【米】11月失業率
22:30 【米】11月非農業部門雇用者数
22:30 【米】10月貿易収支
22:30 【カナダ】11月失業率
22:30 【カナダ】11月雇用ネット変化率
22:30 【カナダ】10月国際商品貿易
00:00 【カナダ】11月Ivey購買部協会指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1061.20	+7.40
NY 原油	41.08	+1.14
CMEコーン	377.00	+6.75
CBOT 大豆	897.50	+5.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.95%	0.94%
3年債	1.25%	1.21%
5年債	1.74%	1.63%
7年債	2.10%	1.97%
10年債	2.32%	2.18%
30年債	3.06%	2.91%

12/4 主要会議・講演・その他予定

- ・セントルイス連銀総裁 講演
- ・ミネアポリス連銀総裁 講演

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

11 月米チャレンジャー人員削減数（前年比） -13.9%（前回 -1.3%）



（出所：ブルームバーグ）

指標結果データ

◀ チャレンジャー人員削減数 ▶

	11月	10月	9月	8月	7月	6月
合計	30,953	50,504	58,877	41,186	105,696	44,842
増減	-19,551	-8,373	17,691	-64,510	60,854	3,808
前年比 (%)	-13.9	-1.3	93.2	2.9	125.4	42.7

	東部	中西部	西部	南部
11月	8,315	6,981	6,167	9,490
10月	6,437	13,472	23,644	6,951
9月	4,120	13,100	35,484	6,173
8月	12,726	12,304	8,962	7,194
7月	63,858	7,079	30,037	4,722
6月	15,917	23,321	3,592	2,012

21 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

ECB 主要政策金利 0.05%（予想 0.05%・前回 0.05%）

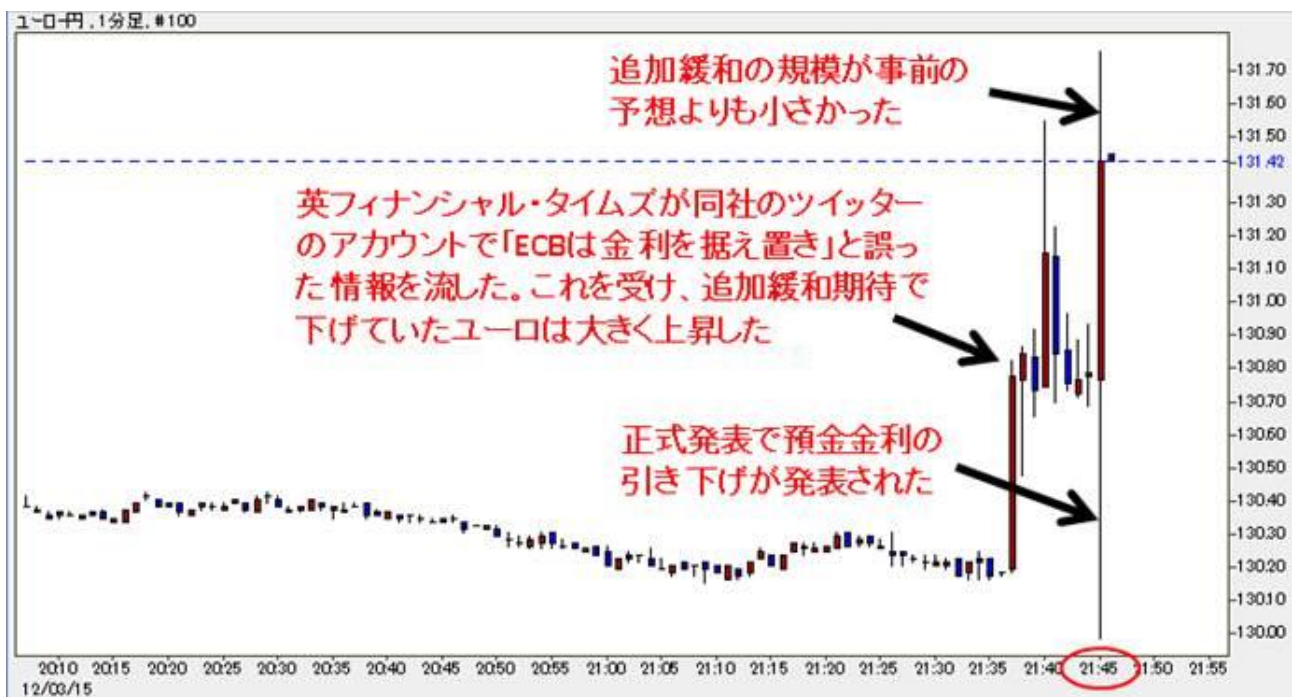
中銀預金金利 -0.30%（予想 -0.30%・前回 -0.20%）

限界貸出金利 0.30%（予想 0.30%・前回 0.30%）



＜海外の話題＞

ECB 理事会での金融政策の発表直前に、英経済紙フィナンシャル・タイムズが同社のツイッターのアカウントで「ECBは金利を据え置き」と誤った情報を流した。これを受け、追加緩和への期待の高まりから軟調な動きとなっていたユーロが大きく反発した。英経済紙は、直後にツイッターの内容は誤りであったと訂正した。



22:00

ドル/円 123.25 ユーロ/円 130.45 ユーロ/ドル 1.0667

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6407.02	-13.91	ダウ 先物ミニ	17790	+32
仏 CAC40	4621.60	+15.84	S&P 500 ミニ	2086.25	+4.75
独 DAX	11197.66	+7.64	NASDAQ 100 ミニ	4711.25	+16.75

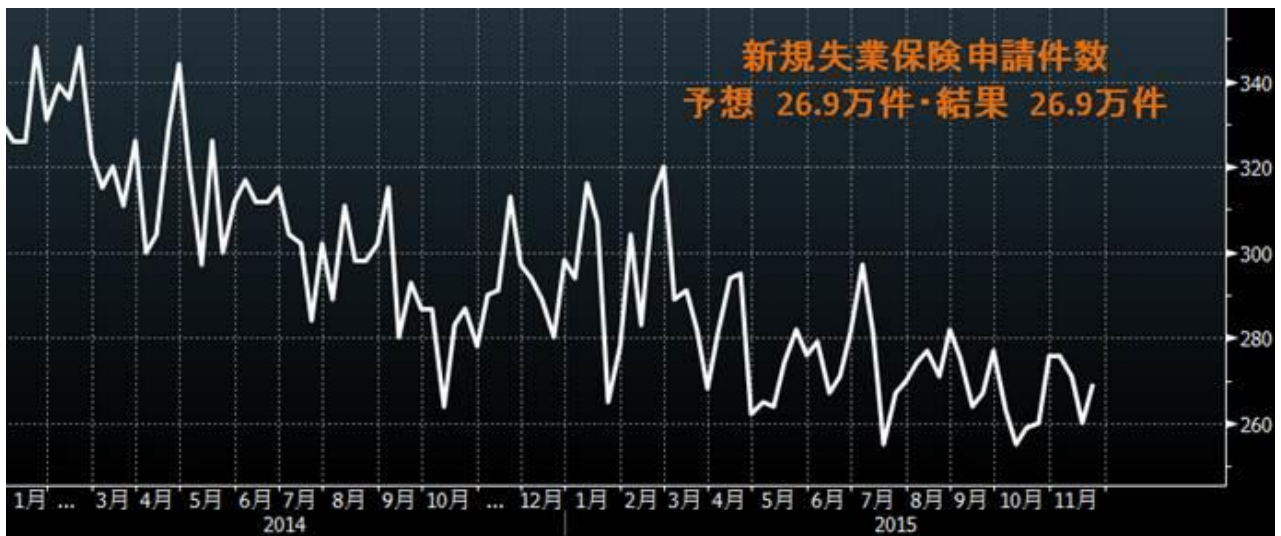
(出所: SBILM)

22:30

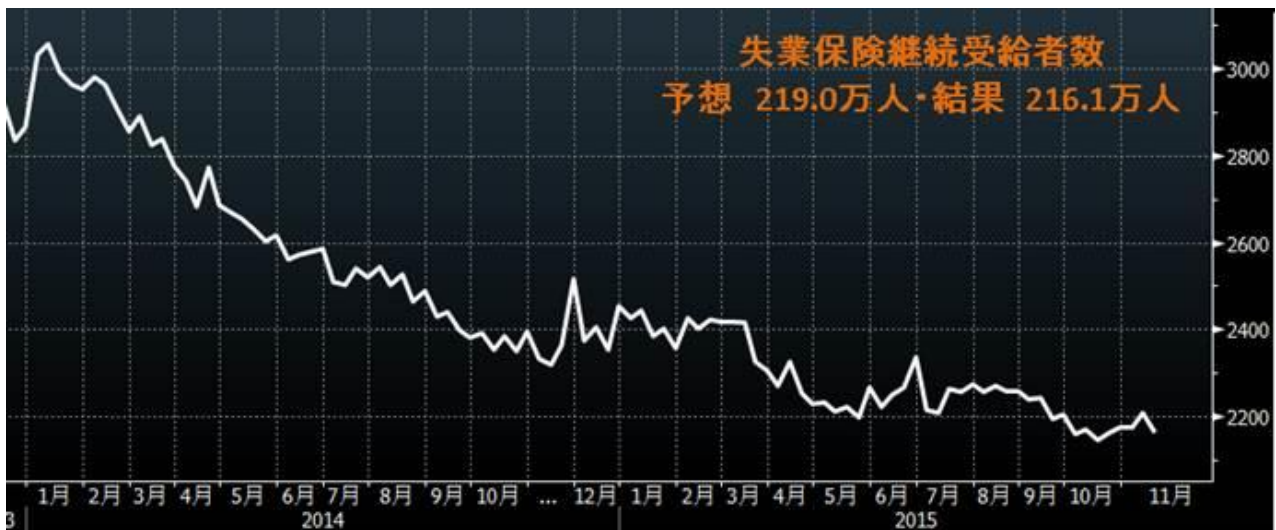
◀ 経済指標の結果 ▶

新規失業保険申請件数 26.9 万件 (予想 26.9 万件・前回 26.0 万件)

失業保険継続受給者数 216.1 万人 (予想 219.0 万人・前回 220.7 万人)



(出所: ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

＜新規失業保険申請件数・継続受給者数＞

	申請件数	・	前週比	・	4 週移動平均	・	受給者数	・	受給者比率
15/11/28	269,000	・	9,000	・	269,250	・	*****	・	*****
15/11/21	260,000	・	-12,000	・	271,000	・	2,161,000	・	1.6%
15/11/14	272,000	・	-4,000	・	271,000	・	2,155,000	・	1.6%
15/11/07	276,000	・	0	・	267,750	・	2,173,000	・	1.6%
15/10/31	276,000	・	+16,000	・	262,750	・	2,177,000	・	1.6%
15/10/24	260,000	・	+1,000	・	259,250	・	2,170,000	・	1.6%
15/10/17	259,000	・	+3,000	・	263,250	・	2,146,000	・	1.6%
15/10/10	256,000	・	-6,000	・	265,250	・	2,172,000	・	1.6%
15/10/03	262,000	・	-14,000	・	267,250	・	2,165,000	・	1.6%
15/09/26	276,000	・	+9,000	・	270,500	・	2,209,000	・	1.6%
15/09/19	267,000	・	+3,000	・	271,750	・	2,195,000	・	1.6%
15/09/12	264,000	・	-11,000	・	272,500	・	2,244,000	・	1.7%
15/09/05	275,000	・	-6,000	・	275,750	・	2,243,000	・	1.7%

受給者数は集計が 1 週間遅れる

22 : 40

＜ 要人発言 ＞

ドラギ ECB 総裁～定例会見

- ・「ECB は資産購入策を少なくとも 2017 年 3 月まで延長」
- ・「ECB は、資産買い入れに地方債も含める」
- ・「インフレ軌道が持続的な上向き調整となるまで資産買い入れ実施の方針」
- ・「経済見通しへのリスクは下向き」
- ・「持続的な低インフレ率は多大な経済の緩みを反映」
- ・「物価安定の見通しを注視」
- ・「景気回復は進展する見込み、調査では第 4 四半期の成長継続へ」
- ・「ユーロ圏の景気回復、新興国市場の成長抑制が押し下げ」
- ・「2016、2017 年にインフレ率は上昇する見込み」
- ・「財政政策は景気回復を支援」
- ・「大多数が賛成したが、決定は全会一致ではなかった」
- ・「元本部分の再投資、緩和の長期化を狙うもの」

- ・「インフレ率は、中期的に2%をやや下回る水準にとどまるべき」
- ・「量的緩和は、これまでのところ非常に効果的」
- ・「政策措置がなければ、来年のインフレ率は0.5%ポイント下振れへ」

22 : 45

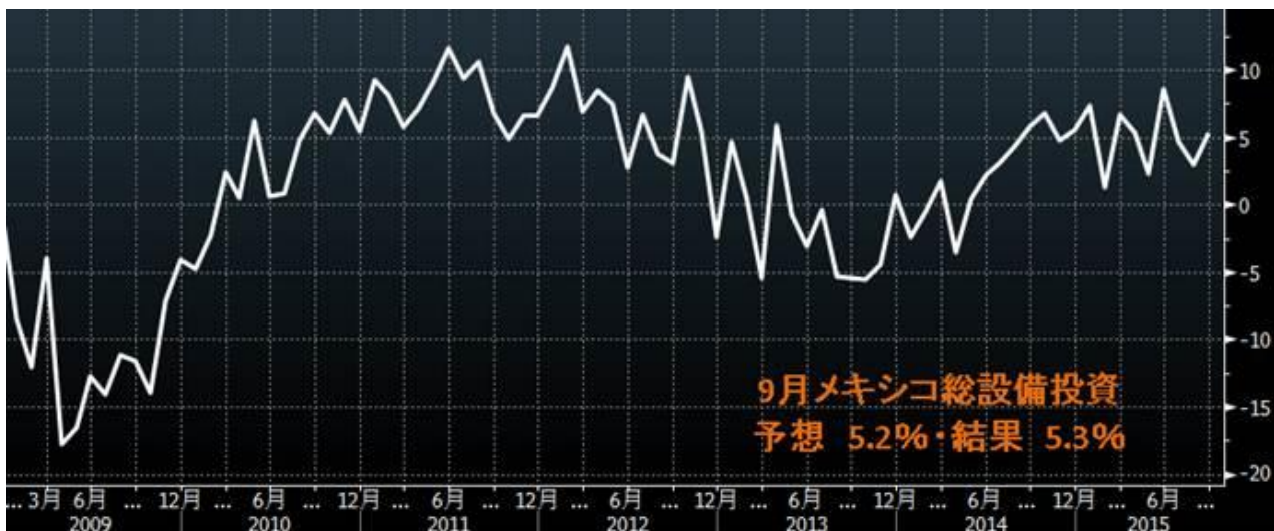
ECB スタッフ予想

- ・「2015 年のユーロ圏 GDP 見通しは 1.5% (9 月予想 1.4%) 」
- ・「2016 年のユーロ圏 GDP 見通しは 1.7% (9 月予想 1.7%) 」
- ・「2017 年のユーロ圏 GDP 見通しは 1.9% (9 月予想 1.8%) 」
- ・「2015 年のユーロ圏インフレ率見通しは 0.1% (9 月予想 0.1%) 」
- ・「2016 年のユーロ圏インフレ率見通しは 1.0% (9 月予想 1.1%) 」
- ・「2017 年のユーロ圏インフレ率見通しは 1.6% (9 月予想 1.7%) 」

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

9 月メキシコ総設備投資 5.3% (予想 5.2%・前回 2.9%)



(出所：ブルームバーグ)

23 : 33

米主要株価

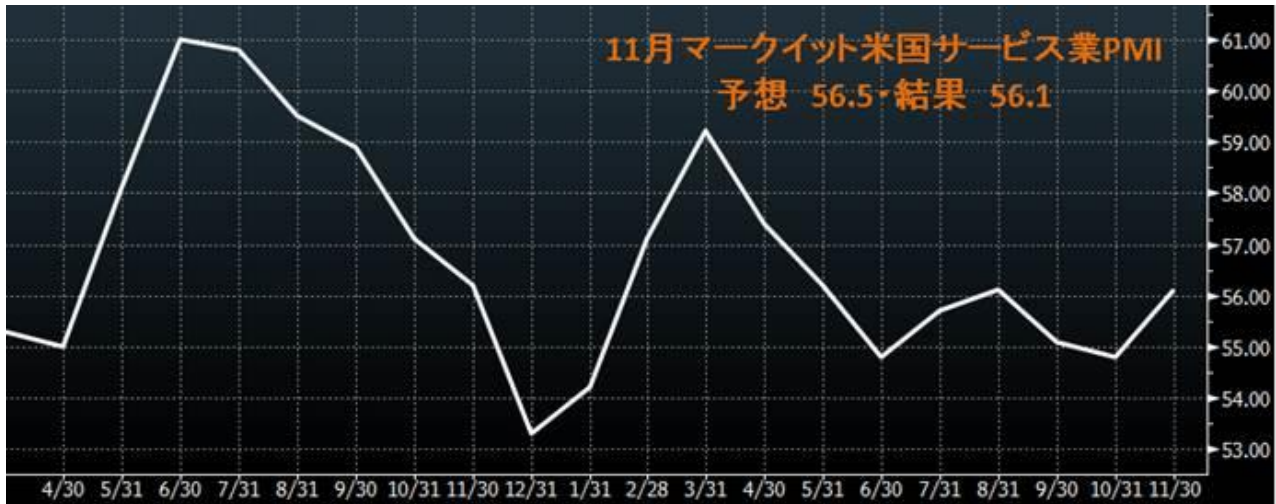
米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17765.56	+35.88
ナスダック	5139.12	+15.90

(出所：SBILM)

23 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

11 月マークイット米国サービス業 PMI 56.1 (予想 56.5・前回 56.5)

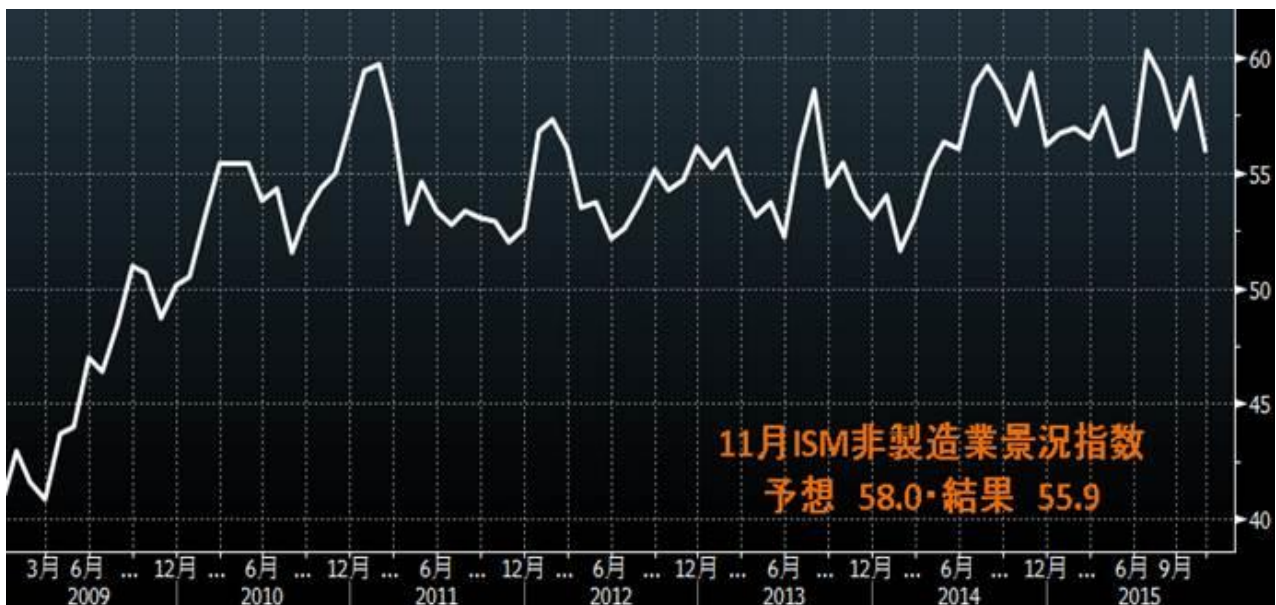


(出所：ブルームバーグ)

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

11 月 ISM 非製造業景況指数 55.9 (予想 58.0・前回 59.1)



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

《ISM 非製造業景況指数》

	11月	10月	9月	8月	7月	6月
総合指数	55.9	59.1	56.9	59.0	60.3	56.0
景況指数	58.2	63.0	60.2	63.9	64.9	61.5
仕入価格	50.3	49.1	48.4	50.8	53.7	53.0
新規受注	57.5	62.0	56.7	63.4	63.8	58.3
雇用者数	55.0	59.2	58.3	56.0	59.6	52.7

0:00

《 経済指標の結果 》

10月米製造業受注指数（前月比） 1.5%（予想 1.4%・前回 -0.8%）
 前回発表の-1.0%から-0.8%に修正



（出所：ブルームバーグ）

指標結果データ

《製造業新規受注指数》

	10月	9月	8月	7月	6月	5月
新規受注	1.5	-1.0	-2.1	0.2	2.2	-1.1
輸送機器を除く	0.2	-0.6	-1.1	-0.7	0.6	-0.1
耐久財	2.9	-0.8	-2.9	1.9	4.1	-2.3
輸送機器	7.9	-2.2	-6.9	4.9	10.8	-6.3
受注残	0.3	-0.5	-0.3	0.2	0.0	-0.5

0:00

《 経済指標の結果 》

10月米耐久財受注（前月比） 2.9%（前回 3.0%）

10月米耐久財受注[除輸送用機器] 0.5%（前回 0.5%）



0 : 30

《 要人発言 》

イエレン FRB 議長～米上下両院合同経済委員会で証言

- ・「突然の引き締めは景気後退リスクになりかねない」
- ・「利上げ先送り、後に突然の引き締めリスクに」
- ・「世界経済の成長格差は、ドル相場を押し上げた」
- ・「米経済成長は全般にトレンドをある程度上回る」
- ・「ドル高は米政策が緩慢な軌道になる公算大きいと意味」
- ・「テロ攻撃は経済に影響する可能性がある」
- ・「11月の雇用統計を注意深く精査する」

0 : 35

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、ドラギ ECB 総裁が国債の買い取り期間を延長するなどの金融緩和策を発表したが、購入規模拡大などさらなる緩和を期待していた投資家による失望売りが優勢となった。

1 : 15

《 要人発言 》

イエレン FRB 議長～米上下両院合同経済委員会で証言

- ・「金利上昇は経済が強くなる環境で起きる」
- ・「最近のデータは、賃金上昇の可能性を示唆」
- ・「FOMC は賃金の伸び悩みを経済予測で重視する」
- ・「ドルの高止まりはインフレの作用を和らげる」
- ・「市場が期待した ECB の行動は実現しなかった」
- ・「ドル上昇は政策かい離期待を反映」
- ・「ドルはこの1年半は、極めて大きく上昇してきた」

<< 経済指標のポイント >>

(1) 米失業保険申請件数は、前週比+0.9万人の26.9万人となり、市場予想の26.0万人を上回った。申請件数の4週移動平均は、前週比-1750人の26万9250人となった。また、集計が1週遅れる失業保険受給者総数は、前週比+0.6万人の216.1万人となった。受給者総数の4週移動平均は、前週比-2250人の216万6500人だった。そして、受給者比率は前週比横ばいの1.6%となった。

(2) 10月の米製造業受注は、前月比+1.5%の4738億7300万ドルと3ヵ月ぶりのプラスとなった。変動の激しい輸送機器を除いた受注は+0.2%で、4ヵ月ぶりの増加となった。非耐久財は横ばいだったものの、民間航空機など耐久財が伸び全体水準を押し上げた。

①耐久財は+2.9%で3ヵ月ぶりのプラス、輸送機器は+7.9%となり、民間航空機が+81.0%、国防航空機は-12.6%、自動車・同部品は-2.0%。また、一次金属が+0.6%、一般機械が+1.2%。

②資本財は+11.7%となり、国防関連を除く資本財が+13.2%、民間設備投資の先行指標となるコア資本財は+1.3%と2ヵ月連続のプラス。国防資本財も+0.8%となった。

③製造業全体の出荷は-0.5%となり、受注残高は+0.3%と3ヵ月ぶりのプラス。在庫は-0.1%と4ヵ月連続のマイナスとなった。出荷に対する在庫の比率は前月から横ばいの1.35だった。

1:40

<< 要人発言 >>

イエレン FRB 議長～米上下両院合同経済委員会で証言

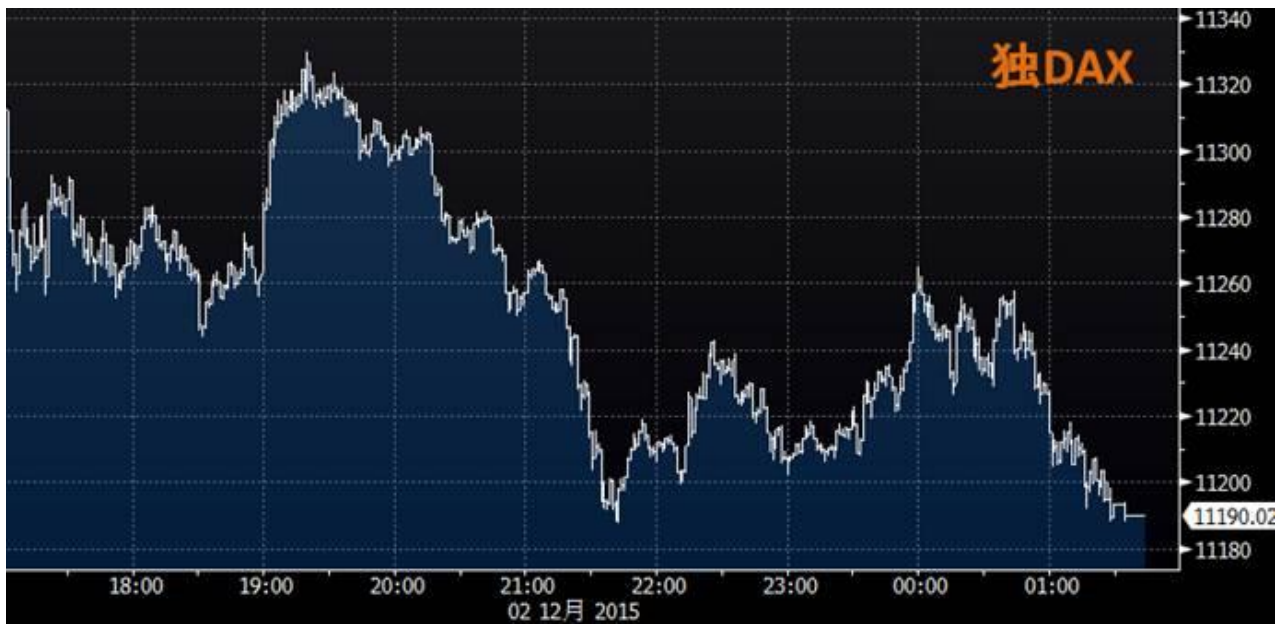
- ・「労働力の拡大に見合った雇用増は月間10万人未満」
- ・「月20万人の雇用増でスラック除去に十分」
- ・「FOMCは常に利上げの後に利下げすることが可能」
- ・「労働参加率は恐らく当分上昇しない可能性も」
- ・「リセッション・リスク、65%からは程遠い」

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6275.00	-145.93
仏 CAC40	4730.21	-175.55
独 DAX	10789.24	-400.78
ストック欧州 600 指数	372.11	-12.06
ユーロファースト 300 指数	1462.76	-50.06
スペイン IBEX35 指数	10092.90	-249.10
イタリア FTSE MIB 指数	21995.71	-556.20
南ア アフリカ全株指数	50424.89	-734.22

(出所:SBILM)

<< 欧州株式市場 >>

欧州株式市場は、ECBの追加緩和の内容に対する失望売りが膨らみ、主要株価は軒並み大幅下落となった。独DAXは、ユーロが主要通貨に対して急伸したことで企業収益の悪化も懸念されていた。



(出所：ブルームバーグ)

2 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 17685.44 (-44.24)、S&P500 2070.24 (-9.27) ナスダック 5109.50 (-13.72)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、ECBによる追加金融緩和策の発表を受けて、欧州でドイツ国債などに失望売りが広がったことが嫌気され、長期債を中心に米国債相場が大幅下落（利回りは上昇）した。米FRBのイエレン議長が議会証言で、今月中旬のFOMCで利上げを決める方針を強く示唆したことも、米国債の売りを促した。

午前の利回りは、30年債が3.01%（前日2.91%）、10年債が2.27%（2.18%）、7年債が2.06%（1.97%）、5年債が1.710%（1.63%）、3年債が1.25%（1.21%）、2年債が0.96%（0.94%）。

4 : 40

NY金は、中心限月が前日比7.40ドル高の1オンス=1061.20ドルで取引を終了した。

5 : 30

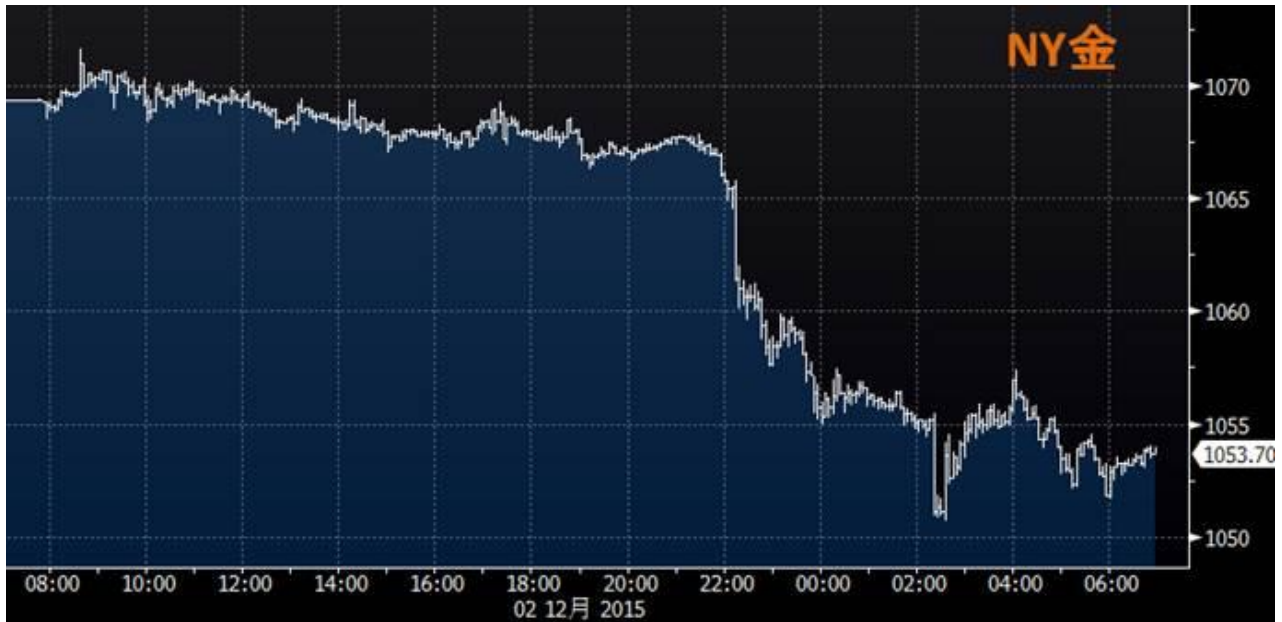
NY原油は、中心限月が前日比1.14ドル高の1バレル=41.08ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1061.20	+7.40
NY 原油	41.08	+1.14

(出所：SBILM)

<< NY 金市場 >>

NY 金は、ECB が発表した追加金融緩和策が市場の予想より小規模だったと受け止められて、ユーロ高・ドル安が進んだことから、ドルの代替資産とされる金の買いが優勢となった。



(出所：ブルームバーグ)

<< NY 原油市場 >>

NY 原油は、ドルがユーロなどに対して下落し、ドル建ての原油の割安感から、買いが優勢となった。また、OPEC が協調減産に動く可能性があるとの観測が出たことも支援材料となった。



(出所：ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17477.67	-252.01	17780.59	17425.56
S&P500 種	2049.62	-29.89	2085.00	2042.35
ナスダック	5037.53	-85.69	5144.60	5011.72

(出所: SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、ドラギ ECB 総裁が国債の買い取り期間を延長するなどの金融緩和策を発表したが、購入規模拡大などさらなる緩和を期待していた投資家による失望売りが優勢となった。そして、欧州株が軒並み下落したことや、12 月の米利上げが意識されたことも株価を押し下げる要因となった。



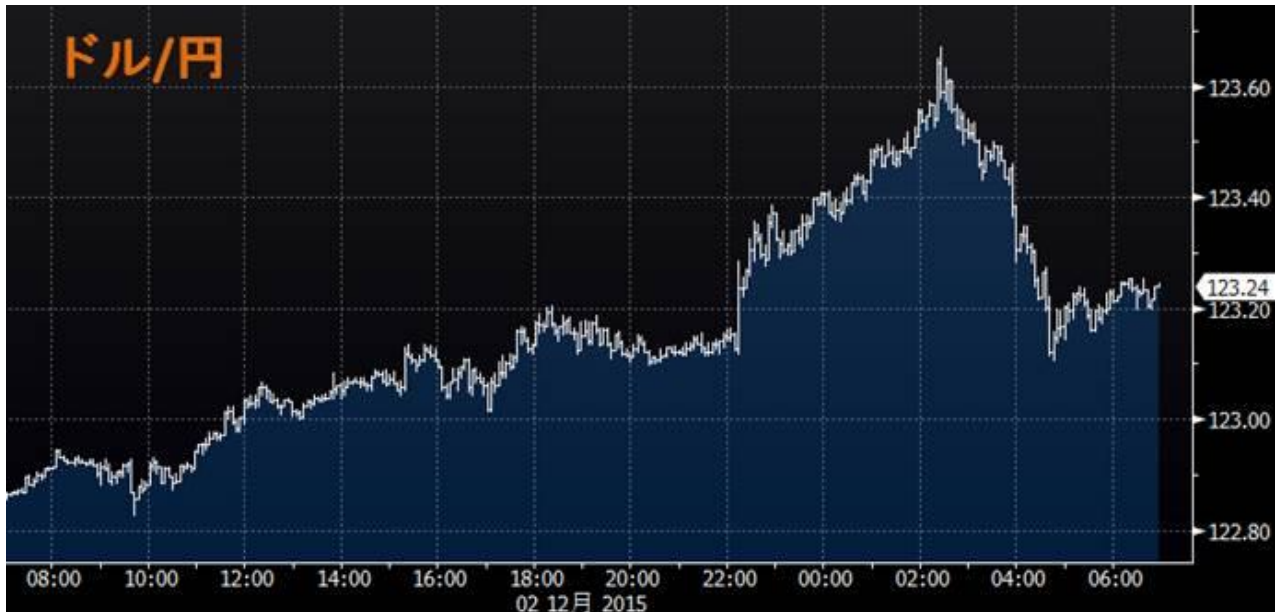
(出所: ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	122.54	123.42	122.31
EUR/JPY	134.13	134.50	131.34
GBP/JPY	185.70	185.92	184.43
AUD/JPY	90.13	90.54	89.71
NZD/JPY	82.16	82.18	81.41
EUR/USD	1.0948	1.0981	1.0647
AUD/USD	0.7356	0.7362	0.7289

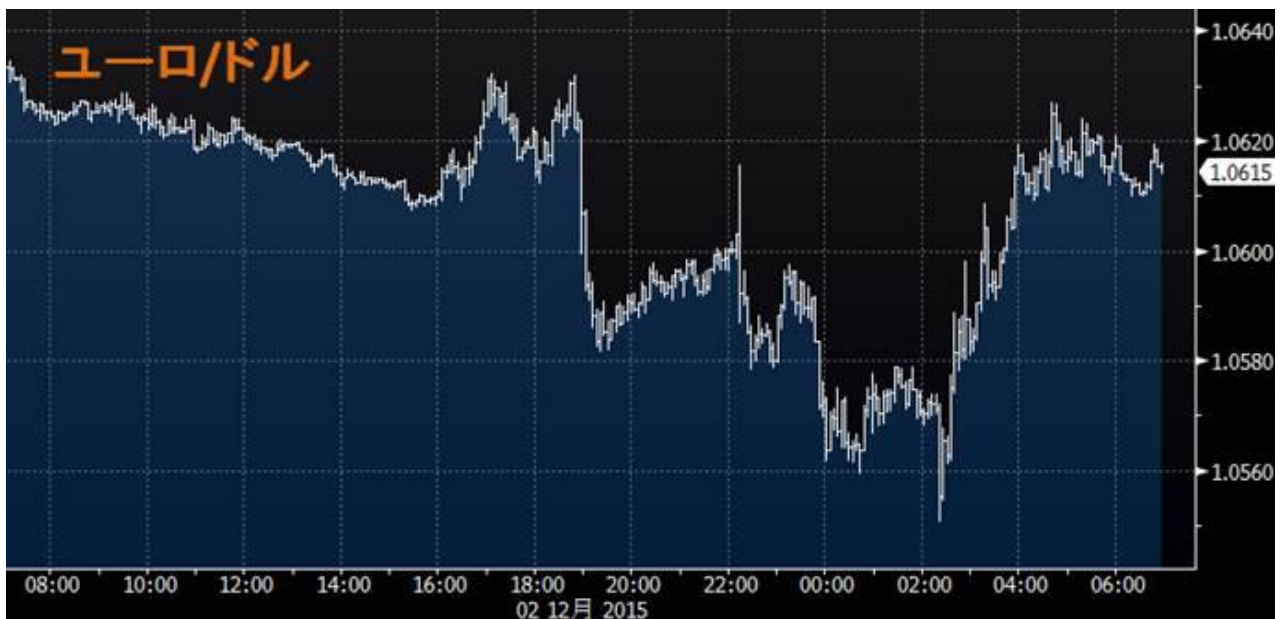
(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、ECB の追加緩和策が予想より小さい規模だったことから、ユーロ買いが優勢となり、ユーロは主要通貨に対して軟調な動きとなった。一方、ドルは米経済指標が悪化したことや、対ユーロで大きく下落したことから、主要通貨に対して軟調な動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。